



新潟県作業療法士会ニュース

朱 鷺

No. 13

作業療法士の皆様へ
～今こそ「作業」の尊さを～

公益社団法人 新潟県作業療法士会 会長 四方 秀人

会員の皆様におかれましては日々の仕事、生活において大変な思いをされていることとお察しします。世界中でCOVIT-19（新型コロナウイルス感染症）の脅威と戦っている最中ですがちょうどこの文章を作成している本日、「緊急事態宣言」が多くの都道府県で解除になりました。しかし、第2波の恐れもあり油断を許さない状況が続いています。社会・経済活動や士会活動のみならず身の回りでの生活様式を変化させ対応しなければなりません。大切な作業を制限される。奪われることは我々が日々向き合っている対象者の立場に似ているように思います。

「やりたいこと」を制限される 「やらなければならない」ことがやれない

「やってほしいと期待されること」を思うようにできない

我々はようやく自分事として「作業」という尊い「営み」を実感しだしたのではないのでしょうか。

我々一人一人は微力です。しかし今こそ作業療法士の英知を集結し、「作業療法」の考え方を新しい視点で新しい形で届けられるよう会員みんなで模索し再考していきたいと思っています。

2020年度の士会活動は恐らく計画通りには遂行できないことが予測されます。それは会場の確保困難や病院・施設からの派遣中止・参加の制限、WEB開催の生涯教育ポイント付与の不確定などが大きな弊害となっております。しかし、多くの委員会の委員達が知恵を絞り、なんとか会員が学ぶ機会を作ろう、県民に寄与できる活動がしたいと方法と内容を模索しています。是非とも会員の皆様にはご理解とご協力を戴きたくお願い申し上げます。

令和2年度 県士会表彰

今年度は6名の先生方が新潟県作業療法士会功労者表彰を受けられました。

例年は定時総会の場で表彰式典を執り行い、直接先生方から一言ずつ頂戴いたしますが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大予防のため定時総会はWEB開催となり、表彰式典も行うことができませんでした。

紙面上でのご紹介となり大変恐縮ではありますが、受賞された先生方のご略歴と会員の皆様に向けたメッセージをここに掲載させていただきます。

また、受賞された先生方におかれましては、今後とも会員や県士会へのご指導を賜れますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



桑原 健一 先生 (新潟県立新発田病院)

1989年4月～ 伊豆蕪山温泉病院

1995年4月～ 厚生連長岡中央総合病院

1996年4月～ 新潟県立小出病院

2012年4月～ 新潟県立精神医療センター

2016年4月～ 新潟県立新発田病院 (現職)

～会員へのメッセージ～

この度は「功労賞」という身に余る表彰を頂き、県士会会員の皆様、現役員の皆様方に心より感謝申し上げます。唯々、自分本位に作業療法を行ってきた積み重ねの結果が、県士会という公の組織に対してどれだけの功労を成したのかについては全く自信がありませんが、自分の原点でもある「高次脳機能障害」の分野におけるいくらかの経験知を、臨床の傍ら養成校の場でお伝えし続けてきたということが僅かでもお役に立てたということであれば、恩師の田村先生をはじめ、ここまで導いてくださった先輩諸先生方にただ感謝の気持ちでいっぱいです。

今も役員の皆様をはじめ、新潟県作業療法士会の発展のために尽力されている皆様に敬意の念を忘れず、今後もこの賞に恥じることはないよう「目の前の対象者にきちんと向き合える丁寧な臨床」を日々重ね、精進したいと思います。



齋藤 真由美 先生 (三之町病院)

1990年4月～ 三之町病院 (現職)

～会員へのメッセージ～

この度は、功労賞をいただき、ありがとうございました。身にあまる賞で一度は辞退しようと思ったのですが、続いていく後輩の為に受け継ぐこととしました。

養成校を卒業後すぐに当院を開院した後、急性期・回復期を経験させていただき、現在は運転再開支援にも関わらせていただいています。県士会には、微力ながら十数年協力させていただき、良い経験となっています。

OTは様々な患者様、スタッフと出会うことで自分も成長し、生きがいを感じる職業と思っています。今後もOTのための一助として支えられたらと感じます。

今ではスタッフも増え、いろいろな面で若いスタッフに助けをもらいながら多忙な業務に取り組んでいます。それぞれが前向きに進めるように尽力したいと思います。

ありがとうございました。



佐藤 主一 先生 (介護老人保健施設グリーンヒル与板)

1989年4月～ 太田総合病院附属太田熱海病院

1994年4月～ 帝京大学医学部附属市原病院

(現 帝京大学ちば総合医療センター)

1997年10月～ 帝京医療福祉専門学校 (現 帝京科学大学)

2004年4月～ 社会福祉法人長岡三古老人福祉会

介護老人保健施設グリーンヒル与板 (現職)

～会員へのメッセージ～

はじめに、私のような者がこのように栄誉ある賞をいただけることを先輩方、同僚、家族、そして何よりご利用者の皆様に感謝いたします。

さて、私は2つの病院と養成校教員を経て、2004年に故郷である長岡の現所属に入職しました。生活期の現場で専門職としてのアイデンティティの揺らぎを感じながらも、自分なりの信念も培われてきたように思います。今後も微力ながら、作業療法の価値を高めるべく努力したいと存じます。この度は誠にありがとうございました。



松本 潔 先生 (新潟県立燕労災病院)

1987年4月～ 新潟県立燕労災病院 (現職)

～会員へのメッセージ～

この度は、功労賞を頂きありがとうございました。昭和62年の春に南国の暖かい地九州より、労災病院所属の養成校九州リハビリテーション大学校を卒業し、最初の赴任地が燕労災病院で、あっという間に、人生55年の半分以上を新潟で過ごし、新潟県に帰化してしまいました。その間、県士会の運営には早い時期より委員等で関わらせていただき、県士会員のみならず多くの方々と知り合えたことは、人生の宝ものです。ここ近年は、だんだんと県士会でも他のアクティブな理事に助けられ幽霊理事のような存在ではありましたが、皆様この場をお借りしてお詫びしたいと思います。あと、5年で定年を迎え現在の職場を離れますが、県士会員は新潟県内にいる限りは継続していく所存ですので、今後も皆様のアドバイス宜しくお願い致します。私事ですが、現在、地域で障害福祉の事業所(就労継続支援B型)を立ち上げるお手伝いをしております。なかなかリハビリサービス提供へつながることができない方々も地域には潜在的に多くおられるのも事実であり、それら社会資源の創出も重要なことだと考えております。今までの県士会活動がかなり参考になっていることも確かです。まとまりのない文章になりましたが、今後も皆さまのお知恵を拝借することがあろうかと思いますが、よろしくお願い致します。



三浦 ひとみ 先生 (新潟県立リウマチセンター)

1989年4月～ 新潟こばり病院

1991年4月～ 新潟県立精神医療センター

2001年4月～ 新潟県立瀬波病院

2006年11月～ 新潟県立リウマチセンター

2009年4月～ 新潟県立新発田病院

2019年4月～ 新潟県立リウマチセンター (現職)

～会員へのメッセージ～

この度は、このような表彰をしていただきましてありがとうございます。これまで、職場の方々、患者さん、家族の支えあつての受賞と思っております。今後も初心を忘れず、努力していきたいと思いません。よろしくお願い致します。



渡辺 美佐子 先生 (介護老人保健施設マザリー三条)

1989年4月～ 三島病院

2003年4月～ 介護老人保健施設さくら苑

2004年4月～ 介護老人保健施設マザリー三条 (現職)

～会員へのメッセージ～

この度は身に余る功労賞を頂くこととなり、ありがとうございます。

私を支えてくれた家族や友人、上司、同僚の皆様のお陰です。感謝申し上げます。

平成の始まりとともに作業療法士となり、当時医学書は新潟市の専門店に注文し忘れたころに手に入る状況でした。令和になり街の普通の本屋で作業療法の専門書が平積みされており新しい時代になったと感激し本を手に取りしばらく見つめていました。

また、人生後半となり、作業療法が私を随分助けてくれていたと感じるようになりました。ただの仕事のツールでは決してない作業療法に出会い、30年も続けてこられたことに喜びを感じています。

分からない事はまだまだ多く、また皆様に少しでも「あなたに会えてよかった」と思っていただけのように日々研鑽していきたいと思えます。今後ともご指導の程よろしく願いいたします。

(掲載50音順)



ICTを活用した「臨床実習指導者講習会 in 新潟」の開催に向けて ～今こそ求められるICTリテラシー*1～

臨床実習推進委員会

担当理事 北 上 守 俊

委員 長 上 杉 文 都

副委員長 長谷川 裕

1 今後の「臨床実習指導者講習会 in 新潟」の開催について

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）の影響で、開催が延期となっております臨床実習指導者講習会 in 新潟（以下、講習会）は、情報通信技術（以下、ICT）を活用した開催を視野に入れて現在準備を進めております。先々の感染状況に応じて、集合型の講習会開催の可能性も残しておりますが、今後のCOVID-19の感染状況の予測が難しく、集合型での講習会を開催する根拠を県士会員の皆様へお示しづらい現状から、講習会参加者の皆様が安心して受講いただくため、ICTを活用した開催も含め準備を進めているところです。講習会では、Web会議サービス「Zoom（ズーム）」*2（開発/運営：Zoom Video Communications, Inc.）を用いて開催・運営を予定しております。

第1回の講習会開催は、今年10月頃（2日間）を予定しております。今後、詳細が決まり次第、県士会ホームページや定期便でご案内させていただきます。

2 ICT教育の拡充

ICTを活用した受講に関して、漠然と抵抗感をお持ちの方や通信環境が十分でない県士会員の方がいらっしゃるの重々承知しております。一方で、ICTの活用は本講習会だけではなく、今後当士会や日本作業療法士協会の事業、リハビリテーション関連の学会や研修会などで活用場面が増えていくと思われれます。

3 作業療法士に求められるICTリテラシー

COVID-19感染拡大前は、多くの方がICTを活用した研修会などへの参加経験は少なかったのではないのでしょうか。私（北上）自身Zoomを活用した当初は、通信機器の画面に向かって独り言を話しているような、少し不思議な感覚がありましたが、今年4月下旬以降ICTを活用する場面が格段に増え、今はあまり抵抗感なく使用できるようになっています。新しい作業療法の理論や技術、福祉機器などの導入に最初戸惑いがあるのと同様に、活用してみたら予想していたよりもじっくりくる感覚と似ているように思います。また、先日作業療法場面で対象者が「Zoomを使って就職の面接をすることになったので、使い方を教えてほしい」という希望が聞かれました。今後さらにCOVID-19の影響によって、社会情勢が変化し、作業療法の対象者がICTを活用しなければならない場面も増えてくるのではないかと思います。そのような観点からも、ICTを活用した研修会などの受講経験が、対象者の希望に寄り添うことにつながる場面も出てくるのではないのでしょうか。

*1 自身の目的に沿った情報通信技術（ICT）に対応および活用する能力のことを指します。

*2 パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットでも利用可能です。参加者総数が3名以上になりますと使用が40分間と時間に制限が生じますが、無料で利用できます（有料版は時間制限なし）。Zoomの基本操作は、電子機器の操作が苦手な方でも、すぐに習得できると思います。

片手でも手や包丁を洗うことができるグッズ

悠遊健康村病院 作業療法士 榎本 康 佑

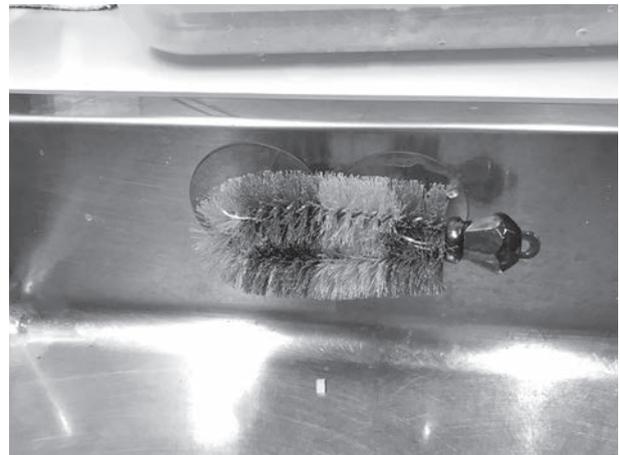
今回は、包丁を洗う際や手を洗う際など何かを洗う際に片手のみでは行いにくいことに対して少し手助けしてくれるような道具を紹介します。

今回は吸盤つきブラシです。脳卒中後等病気の後遺症により、片麻痺になり包丁を洗う際や手を洗う際など両手動作での行為が難しくなることがあると思います。そこで吸盤つきブラシが少し役に立つことがあります。ブラシに吸盤をつけることで固定されます。これにより本来両手を使って行う様な行為でもブラシが滑らない為安定して行えることができます。写真は包丁を洗う際に、吸盤つきブラシをシンクにつけて使用しています。この道具を使う前はブラシが滑ってしまい片手では上手く包丁を洗うことができなかった方もこの方法で包丁を楽に綺麗に洗うことが出来ました。ブラシの間に吸盤の凸部分を差し込むだけですので取り付けることは比較的簡単にできます。また、手を洗う際にはもう少し柔らかい大きめのブラシ等に吸盤をつけてあげると良いです。

<使用時の様子>



<使用時の様子>



今回は吸盤つきブラシを取り上げました。現在、新型コロナウイルス等の予防で手洗い等の清潔保持が必要になっています。吸盤やブラシは比較的安価で購入できます。今回紹介した方法で包丁や手指の衛生を保ちウイルス対策等につなげていただければと思います。

是非みなさまの周りでも活用できそうな方がいらっしゃればご使用していただければと思います。

令和2年度 第1回理事会 議事録

1. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び決算報告
 第2号議案 令和2年度定時社員総会の内容、協議事項、方法について
 第3号議案 会員の入会、退会、休会、復会の承認について

2. 理事会の決議があったとみなされた事項を提案した理事

代表理事（会長） 四方秀人

3. 理事会の決議があったとみなされた日

令和2年4月27日

4. 議事録の作成にかかる職務を行った理事

業務執行理事 石井 登

令和2年4月14日、代表理事 四方秀人が理事の全員及び監事の全員に対して上記理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、令和2年4月27日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条（定款34条）に基づく理事会決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

以上のとおり、理事会の決議があったとみなされた事項を明確にするため、本事項を提案した理事、議事録の作成にかかる職務を行った理事、及び監事は令和2年4月27日に議事録に記名押印した。

令和2年度 第2回理事会 議事録（臨時）

日 時：令和2年5月16日（土）13：30～16：00

会 場：Web開催

出席者：四方、貝淵、菊入、兎玉、石井、一ノ本、伊東、北上、小山、佐藤、能村、松岡、村山（以上理事13名）、水越（以上監事1名）

欠席者：尾崎、門脇、高頭、松本、吉井（以上理事5名）、横田（以上監事1名）

〈報告事項〉

1. 会長報告

- (1) 三役会議（LINEによるビデオ会議）

- ・新型コロナウイルスの感染状況を鑑み今年度事業の9月末までの自粛を決定した
 - ・9月以降、計画通りの事業が行えるかは分からないが、県民、会員に向けてできる限りのことを行う
 - ・介護予防チラシについて会長より提案。6000枚が刷り上がり、市町村、新潟市茶の間に配布した
 - ・Web総会について、Zoomアカウントを士会で取得。Zoomを使用して開催する
 - ・新潟県の非常事態宣言中、5月8日まで事務局体制を一部、感染予防体制に変更した
- (2) リハビリテーション専門職協議会
- ・リハ専門職協議会で介護予防パンフレットの作成する方向で進める（ワーキンググループ：村山理事）
 - ・自立支援に資する地域ケア個別会議人材育成研修について、佐渡はWeb開催で検討している
 - ・訪問リハ便覧（更新）についてPT三村氏にも依頼しリハ専門職協議会で作成する

2. 事務局報告（別紙事務局報告参照）

- (1) 会員管理（令和2年5月13日現在）
- ・会員数1038名：入会5名、復会3名、休会2名、⇒承認された
 - (2) 受領文書、メール、後援事業等について報告
 - (3) Web総会の概要について追加報告した

3. 理事報告

- (1) 菊入理事〈精神分野推進委員会〉
- ・情報共有会、施設見学会 1月、Web開催について検討、準備している
 - ・妙技研修について、SIGでの開催を予定している
- (2) 四方会長 代理報告〈広報部〉
- ・高校生1日体験は、新型コロナウイルスの状況鑑み今年度は中止とした

〈協議事項〉

1. 令和2年度補正予算案（令和元年度未執行分）

- (1) 「現職者共通研修会 事例検討・報告会（R2.3.1実施予定だった）」について
 「現職者共通研修委員会」予算総額 支出57,328円 収入10,000円
 事例検討・報告会は令和2年12月20日実施予定 ⇒承認された
- (2) 「障害福祉領域OTミーティング（R2.3.8実施予定だった）」について
 「障害福祉対策委員会」予算総額 支出72,900円 収入なし
 令和2年11月で終了予定

⇒承認された

2. 令和2年度事業計画について

新型コロナウイルス感染に伴う事業自粛、集合を伴う研修等事業の実施困難をふまえ検討した。

(1) 会員の人格、倫理及び学術技能の研鑽を図る事業について

- ・会員の研鑽のためWebでの研修開催を行う
(生涯教育ポイント対象にならなくても。実績を残し協会にも働きかけを行う)
- ・会員の研鑽のため、研修会の他にマニュアル等の発行なども検討する

(2) 健康増進に関する情報提供・講座開催について

- ・講座開催が困難なため、啓発パンフレット、チラシなどで健康増進、介護予防などの情報提供を行う
- ・健康維持・増進、介護予防(コロナ対策)などに関する寄付も検討する



SAKAIMED

急性期からの＊
ハンドセラピーを
お手伝いします。

* スプリント *

酒井医療株式会社
新潟営業所
Tel: 025-278-4777
www.sakaimed.co.jp

福祉・労災指定
各種車椅子・座位保持装置・ベッド
コミュニケーションエイド・福祉機器一般
介護保険レンタル・介護住宅リフォーム相談

(株) G・T・B
(オーエックス新越)

〒956-0017
新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27
TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710
<http://www.gtb-niigata.jp/>

義肢・装具・介護レンタル

ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号



(株)田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11
TEL 025 281-0303
FAX 025 281-0339



介護用品、レンタル・販売
リハビリ機器、医療機器販売

(株)いわしや
悠久堂医科器械店

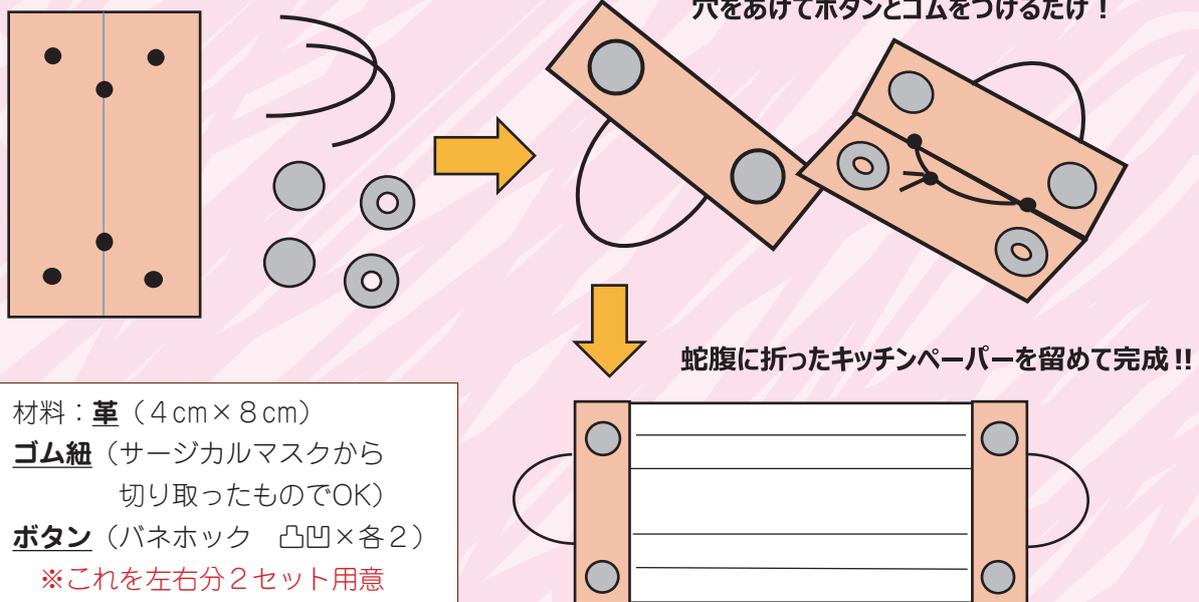
本社 TEL 0258-47-1848
新潟営業所 TEL 025-284-6866

革細工でマスク作ってみました 😊

新型コロナウイルスの影響で巷ではマスクが品薄となり、最前線の医療・介護の現場でも供給が滞る事態となりました。恐らく皆様の職場においても急場をしのぐ必要に迫られたことと思います。しかし、作業療法士にとっては「必要なものがない」「使い勝手の良くないものをどうにかしたい」という場面は日常茶飯事、そんな時に試行錯誤している時間こそワクワクするものだったりしませんか？

経験豊富な皆様の事ですので、きっと様々な知恵や工夫で、時には患者様や利用者様も交えて乗り越えられたのではないのでしょうか？私は職場の倉庫に余っていた革を使ってマスクホルダーを作りました。キッチンペーパーを折って止めるだけで使い捨てマスクになります！そのまま一枚でも使えますが、布マスクの上にカバーとして使うこともできます。

この紙面が皆さまのお手元に届くころには、マスクの需給バランスも改善しているだろうと期待していますが、まだまだ気を抜くことができません。「こんな工夫で楽しく乗り切れた」「こんなものを作ってみた」など皆様の経験談も是非是非お聞かせください。



広報委員会ではこちらに掲載する皆様の作業療法の成果を募集しています！Activityによる作品や利用者様との思い出の写真等なんでもOKです！少しでも興味のある方は下記の連絡先まで！！（次回発行は11月頃を予定しています）

新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

新潟市東区牡丹山3丁目1番11号 三森ビル301号

<TEL> 025-279-2083 <FAX> 025-384-0018

<E-mail> ot-niigata.toki4721@helen.ocn.ne.jp

No.13 2020年7月15日発行

発行責任者：四方 秀 人

編集責任者：尾 崎 生

発 行：公益社団法人新潟県作業療法士会広報部

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1

総合リハビリテーションみどり病院

印 刷：株式会社タカヨシ